

# DENON

パーソナル オーディオ システム

## S-81

取扱説明書

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

お買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。  
お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

ご使用になる前に .....	3 ~ 12
接続のしかた .....	12 ~ 16
基本操作のしかた .....	17
ラジオ放送の聞きかた .....	18、19
タイマー機能の使いかた .....	20 ~ 22
その他の機能の使いかた .....	23
ディスク再生のしかた .....	23 ~ 25
MP3やWMAファイルの再生のしかた .....	26 ~ 28
その他の操作のしかた .....	29、30
システム操作のしかた .....	30
その他について .....	31 ~ 33

# 総目次

## ご使用になる前に

付属品について	2
安全上のご注意	3~5
取り扱い上のご注意	
設置の際のご注意	6
携帯電話使用時のご注意	6
お手入れについて	6
スピーカー (SC-S81) について	6
ディスクについて	
本機で使用できるディスク	7
ディスクの持ちかた	7
ディスクの入れかた	7
ディスクを入れる際のご注意	7
取り扱いについてのご注意	7
保存についてのご注意	7
ディスクのお手入れのしかた	8
リモコンについて	
乾電池の入れかた	8
リモコンの使いかた	8
各部の名前とはたらき	
フロントパネル	9
ディスプレイ	9
リアパネル	10
リモコン	10~12

## 接続のしかた

接続ケーブルの表示	12
スピーカーを接続する	13
スピーカーケーブルを変える	13
アンテナを接続する	
付属アンテナの接続	14
屋外アンテナの接続	14
ポータブルプレーヤーの接続	15
iPodの接続	
付属のiPodケーブルを使用する場合	15
専用のiPod用コントロールドックを使用する場合	15
Apple社のiPod Dockを使用する場合	16
CDレコーダーまたはMDレコーダーの接続	16
電源コードの接続	16

## 基本操作のしかた

電源を入れる	17
ディスクを入れる	17
音量を調節する	17
音質を調節する	17

## ラジオ放送の聞きかた

ラジオ放送局を選ぶ	18
受信した放送局に名前を付けてプリセットする	19
放送局を自動的にプリセットする	19
プリセットした放送局を聞く	19

## タイマー機能の使いかた

現在時刻を合わせる	20
タイマー予約の前に	20
エブリディタイマーまたはワンスタイマーを予約する	21
エブリディタイマー/ワンスタイマーの動作について	22
スリープタイマーを予約する	22

## その他の機能の使いかた

低待機電力の設定をおこなう	23
スタンバイ時の時刻表示時間を設定する	23
低待機電力モード (ECOモード) を設定する	23
スピーカーの設定をおこなう	23
スピーカーの重低音の設定をおこなう	23
スピーカー位置の設定をおこなう	23
部屋の響きに合わせた設定をおこなう	23

## ディスクの再生のしかた

再生をはじめる	23
再生を停止する	23
再生を一時停止する (ポーズ)	23
曲の早送りをおこなう (サーチ)	24
曲の早戻しをおこなう (サーチ)	24
曲の頭出しをおこなう (スキップ)	24
聞きたい曲を再生する (ダイレクト再生)	24
聞きたい曲を好きな順番に聞く (プログラム再生)	24、25
順不同に聞く (ランダム再生)	25
曲をくり返して聞く (リピート再生)	
1曲のみをくり返して聞く (1曲リピート再生)	25
全曲をくり返して聞く (全曲リピート再生)	25

## MP3やWMAファイルの再生のしかた

MP3やWMAファイルを再生する前に	26
MP3やWMAファイルを再生する	27
MP3やWMAファイルを順不同に聞く (フォルダ/ディスクランダム再生)	27
MP3やWMAファイルをくり返して聞く (フォルダ/ディスクリピート再生)	28

## その他の操作のしかた

iPodを再生する	
付属のiPodケーブルを使用する	29
専用のiPod用コントロールドックを使用する	29
Apple社のiPod Dockを使用する	29
ポータブルプレーヤーを再生する	30

## システム操作のしかた

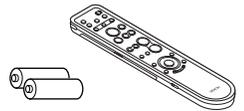
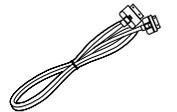
オートパワーオン機能	30
オートファンクション機能	30

## その他について

故障かな?と思ったら	31、32
保証とサービスについて	32
主な仕様	33

## 付属品について

ご使用の前にご確認ください。

リモコン (RC-1035)...1個 単3形乾電池.....2本 	スピーカーケーブル ...2本 (ケーブル長さ:約5m) 
iPodケーブル .....1本 (ケーブル長さ:約1m) 	AMループアンテナ.....1個 
FMアンテナ .....1本 (ケーブル長さ:約1.5m) 	六角レンチ .....1本 
壁掛けブラケット .....2個 ねじ .....4本 	取扱説明書 (本書).....1冊 製品のご相談と修理・ サービス窓口一覧表 ...1枚 保証書【梱包箱に添付】

## ご使用になる前に

### 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 【絵表示の例】



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



**警告**

### 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く  
煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜け

お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

水が入ったり、濡らしたりしないように



雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない



通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

電源コードは大切に



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない



内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で



接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。

また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。

雷が鳴り出したら



電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない



電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

# 警告 つづき

## 安全上お守りいただきたいこと

落としたり、キャビネットを破損した場合は  
まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



## 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない  
火災・感電の原因となります。



水場での  
使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



# 注意

## 安全上お守りいただきたいこと

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない



電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となります。



また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となります。

電源コードを熱器具に近付けない



コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。



電源プラグを抜くときは



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したり、ケーブルを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えます。



長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



## 安全上お守りいただきたいこと

### ディスク挿入口に手を入れない



手を挟まれないように注意

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



指のケガに注意

### レーザー光源をのぞき込まない



レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

## 置き場所について

### 次のような場所には置かない



火災・感電の原因となることがあります。  
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ  
湿気やほこりの多いところ  
直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

### 不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

### 壁や他の機器から少し離して設置する



壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

## 取り扱いについて

### 通風孔をふさがない



内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

あお向けや横倒し、逆さまにする  
押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む  
テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

### この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない



特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

### 重いものをのせない



機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

### 移動させる場合は



まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルなど外部の接続ケーブルを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。  
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

## 使わないときは

### 長期間の外出・旅行の場合は



安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

## お手入れについて

### お手入れの際は



安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

### 5年に一度は内部の掃除を



販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。  
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

## ステレオ音のエチケット



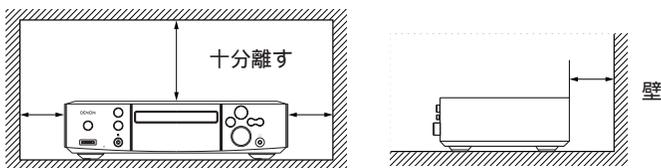
音のエチケット

隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。  
特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

## 取り扱い上のご注意

### 設置の際のご注意

放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他の機器などとは十分に離して設置してください。



### 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音（ノイズ）が入る場合があります。携帯電話は、本機から離れたところでご使用ください。

### お手入れについて

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。  
 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。  
 ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますのでご使用にならないでください。



本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

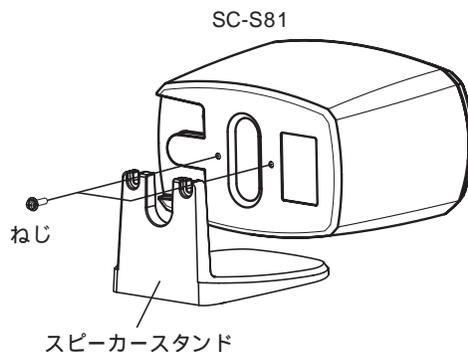
## スピーカー（SC-S81）について

スピーカーの設置については次のことにご注意ください。

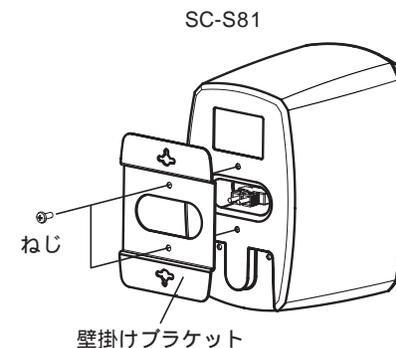
スピーカーをレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置するとハウリングを起こすことがありますのでご注意ください。

スピーカーの近くに磁石もしくは磁石を備えた家具や器具などが置かれている場合、本機との相互作用により、テレビに色むらを発生させる場合がありますのでご注意ください。

スピーカーは、横向きにも使用することもできます。スピーカーを横向きにし、スタンドを取り付けていた2本のねじでしっかりとスタンドをスピーカーに取り付けてください。サランネットの両端に指をかけて手前に引いて、サランネットを外してからバジの裏面を押しながら、バジを回して横向きにしてください。



付属の壁掛けブラケットを使用して設置することができます。付属の短い4本のねじで、スピーカーの背面の取り付けねじ穴に壁掛けブラケットをしっかりと取り付けてください。



### 警告

スピーカーの質量に耐えられる丈夫な壁に取り付けてください。当社は落下によるいかなる損害・事故についてもその責を負いません。



壁への取り付けは安全性確保のため、専門施工業者へ依頼してください。スピーカー接続コードを足や手に引っ掛けて本機を落下させることのないように、コードは必ず壁などに固定してください。



必要に応じて、別売りの天井吊りブラケット（ASG-10、ASG-20）のご使用をおすすめします。

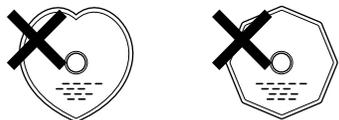
## ディスクについて

### 本機で使用できるディスク

#### ① 音楽用CD

本機で使用できるディスクは、右のマークがついているものです。

但し、ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは再生できません。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。



#### ② CD-R/CD-RW

ご使用になるディスクや記録状態により再生できない場合があります。

ファイナライズされていないディスクは再生できません。

ファイナライズとは？

録音されたCD-R/CD-RWを再生対応機で再生できるように処理すること。

### ディスクの持ちかた

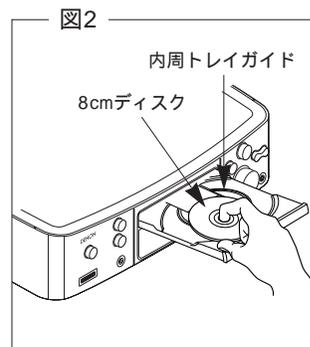
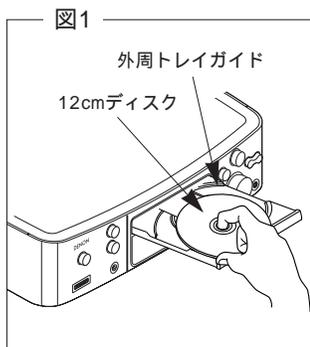


ディスク情報面に触らないようにご注意ください。

### ディスクの入れかた

レーベル面を上にして入れてください。ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。

12cmディスクは外周トレイガイド(図1)に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド(図2)に合わせて、水平に載せてください。



8cmディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。



次の場合は、ディスプレイが“00Tr 00:00”表示になります。

- ・ディスクが入っていない場合
- ・ディスクが裏返しに入っている場合
- ・ディスクの情報を正しく読めなかった場合

### ディスクを入れる際のご注意

ディスクは1枚だけ入れてください。2枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。

ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクはご使用にならないでください。

セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるディスクはご使用にならないでください。そのままご使用になると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

### 取り扱いについてのご注意

指紋・油・ゴミなどを付けしないでください。

ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。

曲げたり、熱を加えたりしないでください。

中心の穴を大きくしないでください。

レーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。

屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴がつくことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かさしないでください。

### 保存についてのご注意

ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。

ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。

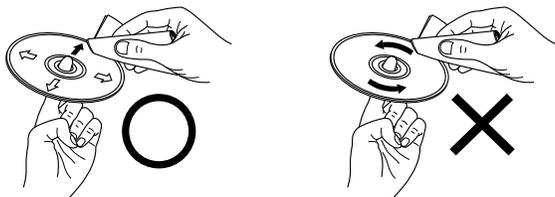
次のような場所に置かないでください。

1. 直射日光が長時間当たるところ
2. 湿気・ほこりなどが多いところ
3. 暖房器具などの熱が当たるところ

### ディスクのお手入れのしかた

ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってからご使用ください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。

拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽く拭く。 円周に沿っては拭かない。

#### ご注意

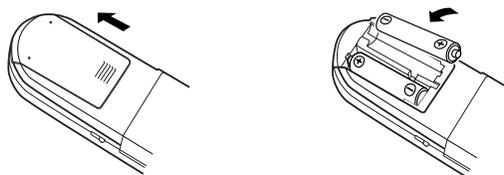
レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、ご使用にならないでください。

### リモコンについて

#### 乾電池の入れかた

矢印のように押して引き上げる。

単3形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れる。



裏ぶたを元通りにする。

#### 乾電池についてのご注意

リモコンには単3形乾電池をご使用ください。リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。

破損・液漏れの恐れがありますので、

新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜてご使用にならないでください。

違う種類の乾電池を混ぜてご使用にならないでください。

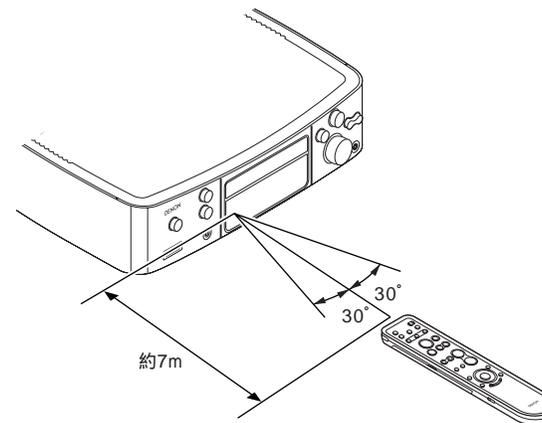
乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。

万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

### リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。左右30°までの範囲で約7m離れたところまで使用できます。



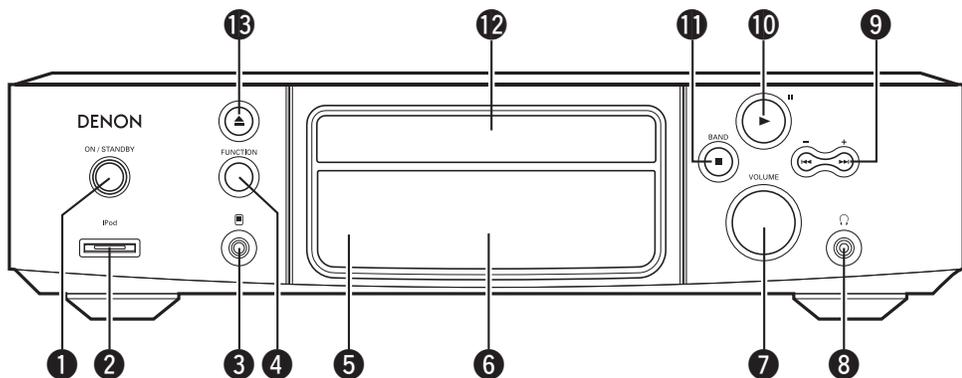
#### ご注意

リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。

### 各部の名前とはたらき

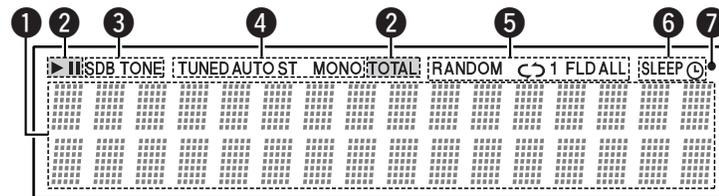
各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページを参照してください。

### フロントパネル



- ① 電源スイッチ (ON/STANDBY) ... (17)
- ② iPodコネクター (iPod) ..... (15, 16)
- ③ ポータブルジャック ..... (15)
- ④ ファンクション切り替えボタン (FUNCTION) ..... (18, 19)
- ⑤ リモコン受光部 ..... (8)
- ⑥ ディスプレイ ..... (9)
- ⑦ 音量調節つまみ (VOLUME) ..... (17)
- ⑧ ヘッドホンジャック  
市販のヘッドホンでお楽しみいただくときに使用します。  
ヘッドホンプラグを差し込むと、音声はヘッドホンからのみ聞こえます。
- ⑨ スキップボタン (◀◀, ▶▶) ..... (17 ~ 25, 27)  
チューニングボタン (+, -) ..... (18)
- ⑩ プレイ/ポーズボタン (▶/||) ..... (23)
- ⑪ ストップボタン (■) ..... (23)  
バンドボタン (BAND) ..... (18, 21)
- ⑫ ディスクトレイ ..... (7)
- ⑬ ディスクトレイ開閉ボタン (▲) ..... (17)

### ディスプレイ



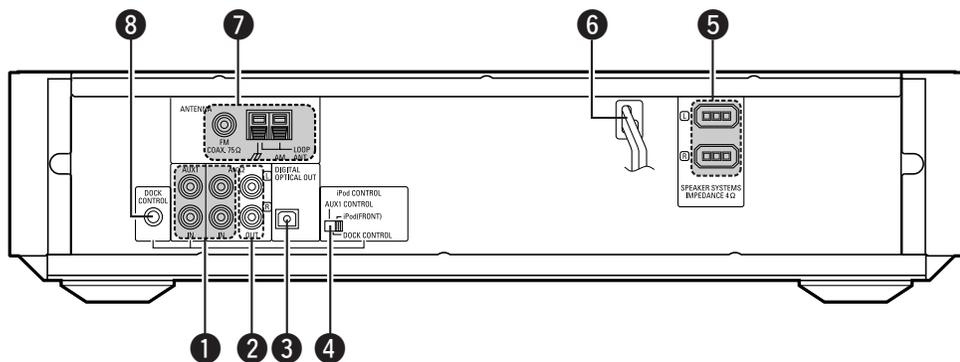
- ① インフォメーションディスプレイ  
いろいろな情報を表示します。  
動作全般の表示：  
・ファンクション  
・時計  
・音量レベル  
・各音質レベルなど  
ファンクションが“TUNER”のとき：  
・ラジオ放送局名  
・チューナープリセット名など  
ファンクションが“CD”のとき：  
【音楽CDの場合】  
・総曲数  
・総時間  
・曲番  
・経過時間など  
【MP3/WMAの場合】  
・フォルダ数  
・曲数  
・フォルダ番号  
・経過時間  
・曲名  
・アーティスト名  
・アルバム名など
- ② CD再生モード表示  
▶：再生中に点灯します。  
||：一時停止中に点灯します。  
TOTAL：①に総曲数や総時間を表示しているときに点灯します。
- ③ 音質表示  
SDB：スーパーダイナミックバスが“ON”のときに点灯します。  
TONE：音質（低音/高音）を調整しているときに点灯します。
- ④ チューナー受信モード表示  
TUNED：FM放送またはAM放送を正しく受信したときに点灯します。  
AUTO：オートステレオモードのときに点灯します。  
ST：オートステレオモードでステレオ放送を受信しているときに点灯します。  
MONO：オートステレオモードでモノラル放送を受信しているときに点灯します。
- ⑤ CD/MP3/WMA再生モード表示  
RANDOM：ランダム再生のときに点灯します。  
↻：リピート再生のときに点灯します。リピートボタンを押すたびに次のように点灯します。  
フォルダモード以外の場合：  

↻ 1	→	↻ ALL
(1曲リピート)		(全曲リピート)
表示なし		

  
 フォルダモードの場合：  

↻ 1 FLD	→	↻ FLD
(1曲リピート)		(フォルダ間の全曲リピート)
FLD		
- ⑥ タイマー動作表示  
⌚：タイマーを設定後、タイマーがスタンバイ状態のときに点灯します。  
SLEEP：スリープタイマー動作中に点灯します。
- ⑦ リモコン信号受信表示  
リモコン信号を受信したときに点灯します。

## リアパネル



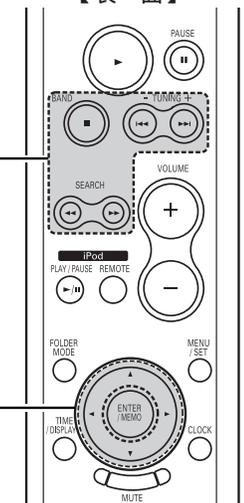
- |  |  |
|--|--|
| ① アナログ音声入力端子 .....( 15, 16 )                             | ⑤ スピーカー端子 .....( 13 )                            |
| ② アナログ音声出力端子 .....( 16 )                                 | ⑥ 電源コード .....( 16 )                              |
| ③ デジタル音声出力端子<br>( DIGITAL OPTICAL OUT ) .....( 16 )      | ⑦ アンテナ端子<br>( ANTENNA ) .....( 14 )              |
| ④ iPodコントロール切り替えスイッチ<br>( iPod CONTROL ) .....( 15, 16 ) | ⑧ Dockコントロールジャック<br>( DOCK CONTROL ) .....( 15 ) |

## リモコン

### チューナーブロック

#### 【表面】

- バンドボタン  
( BAND ) .....( 18 )
- チューニングボタン  
( TUNING ) .....( 18 )
- サーチボタン  
( SEARCH ) .....( 18 )

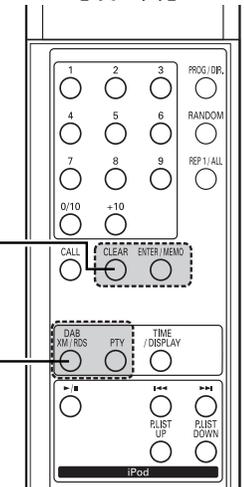


- エンター/メモボタン  
( ENTER/MEMO ) .....( 19 )
- カーソルボタン  
( Δ, ▽, ▷, ◁ ) .....( 19 )

#### 【裏面】

- クリアーボタン  
( CLEAR ) .....( 19 )
- エンター/メモボタン  
( ENTER/MEMO ) .....( 19 )

DAB/XM/RDS, PTYボタン  
海外向け製品用のボタンです。  
本機では動作しません。

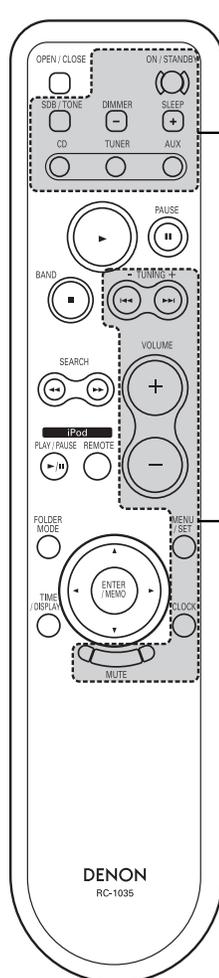


### ご注意

表面または裏面のボタンを強く押すと、それぞれの反対側のボタンも一緒に動作する場合があります。

アンプブロック

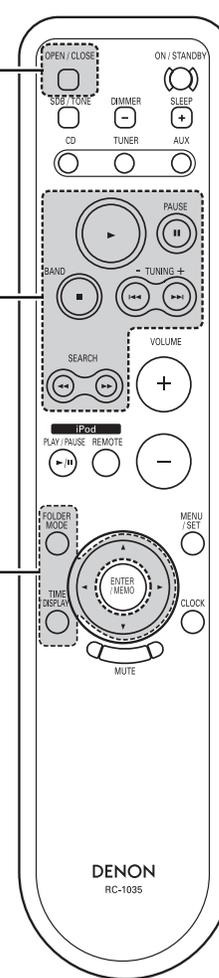
【表面】



- 電源ボタン  
(ON/STANDBY).....(17)
- スリープボタン  
(SLEEP).....(22)
- ファンクションボタン  
(CD, TUNER, AUX)  
.....(18, 23, 30)
- ディマーボタン  
(DIMMER)  
ディスプレイの明るさを変えます。
- スーパーダイナミックバス/  
トーンコントロール切り替え  
ボタン (SDB/TONE)...(17)
- スキップボタン  
(◀◀, ▶▶).....(17)
- 音量調節ボタン  
(VOLUME).....(17)
- メニュー/セットボタン  
(MENU/SET).....(20, 21)
- クロックボタン  
(CLOCK).....(20)
- ミュートボタン  
(MUTE)  
消音します。

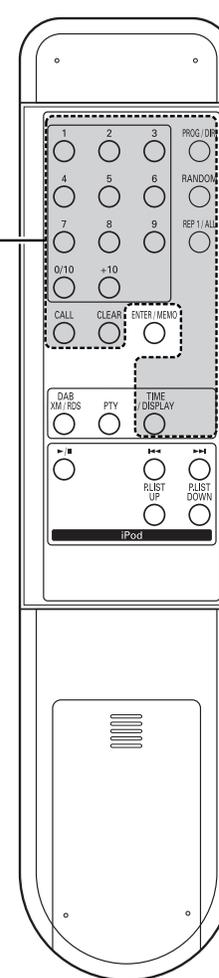
CDブロック

【表面】

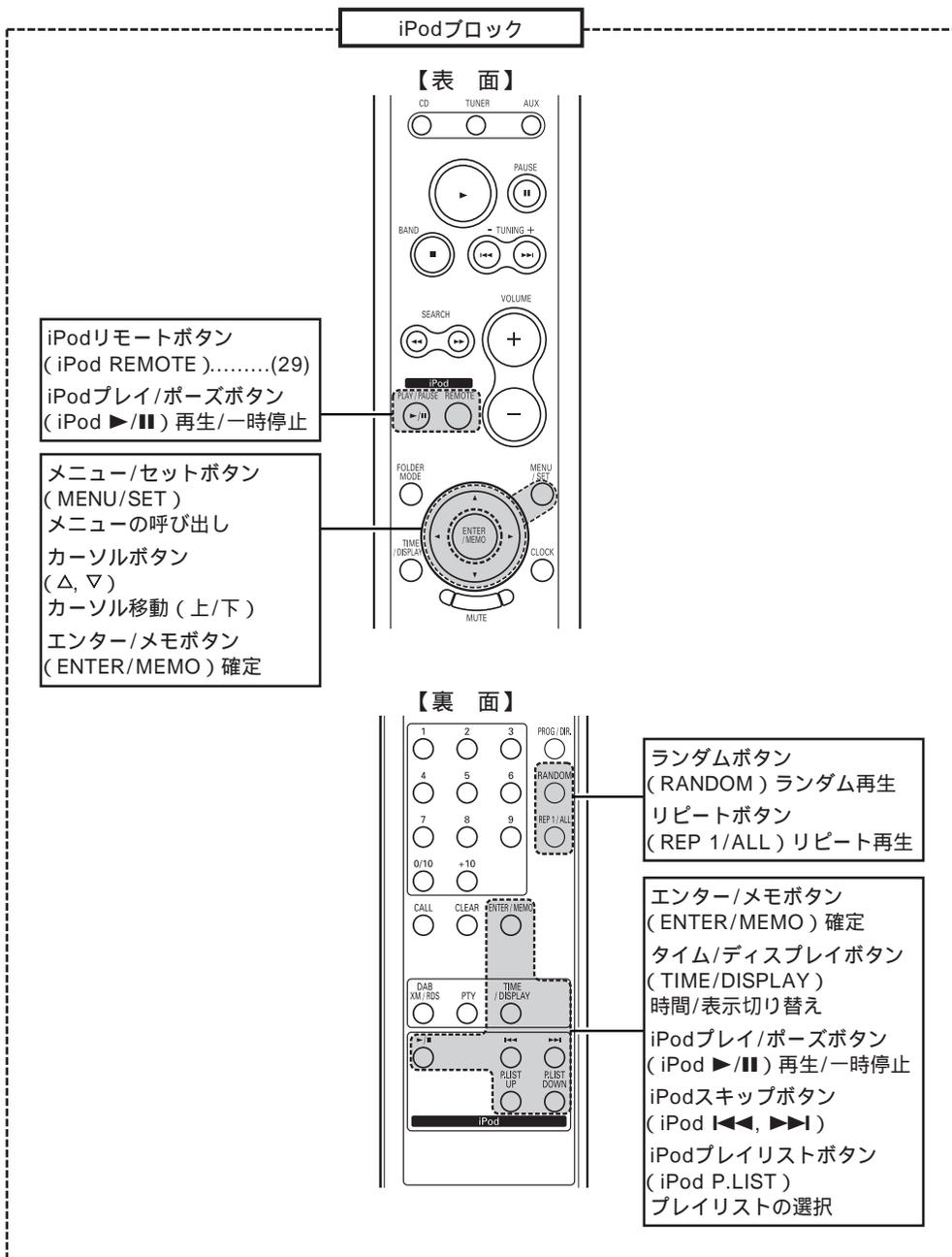


- ディスクトレイ開閉ボタン  
(OPEN/CLOSE).....(17)
- プレイボタン  
(▶).....(23)
- ポーズボタン  
(PAUSE ||).....(23)
- ストップボタン  
(■).....(23)
- スキップボタン  
(◀◀, ▶▶).....(24)
- サーチボタン  
(◀◀, ▶▶).....(24)
- フォルダーモードボタン  
(FOLDER MODE).....(27)
- タイム/ディスプレイボタン  
(TIME/DISPLAY).....(23)
- カーソルボタン  
(△, ▽).....(27)

【裏面】



- プログラム/ダイレクトボタン  
(PROG/DIR.).....(24, 25)
- ランダムボタン  
(RANDOM).....(25)
- 番号ボタン  
(1~9, 0/10, +10)  
.....(24)
- リピートボタン  
(REP 1/ALL).....(25, 28)
- コールボタン  
(CALL).....(25)
- クリアボタン  
(CLEAR).....(25)
- タイム/ディスプレイボタン  
(TIME/DISPLAY)  
.....(23, 27, 28)



## 接続のしかた

### ご注意

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。  
接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。  
電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、雑音の原因になります。  
電源を入れたまま接続すると、雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。  
電源コードや接続ケーブルを一緒に束ねると、ハムや雑音の原因になることがあります。  
接続の変更は、必ず電源コードを抜いてからおこなってください。動作中におこなうと、誤動作の原因になります。

### 接続ケーブルの表示

下記に示す接続ケーブルを使用して接続してください。

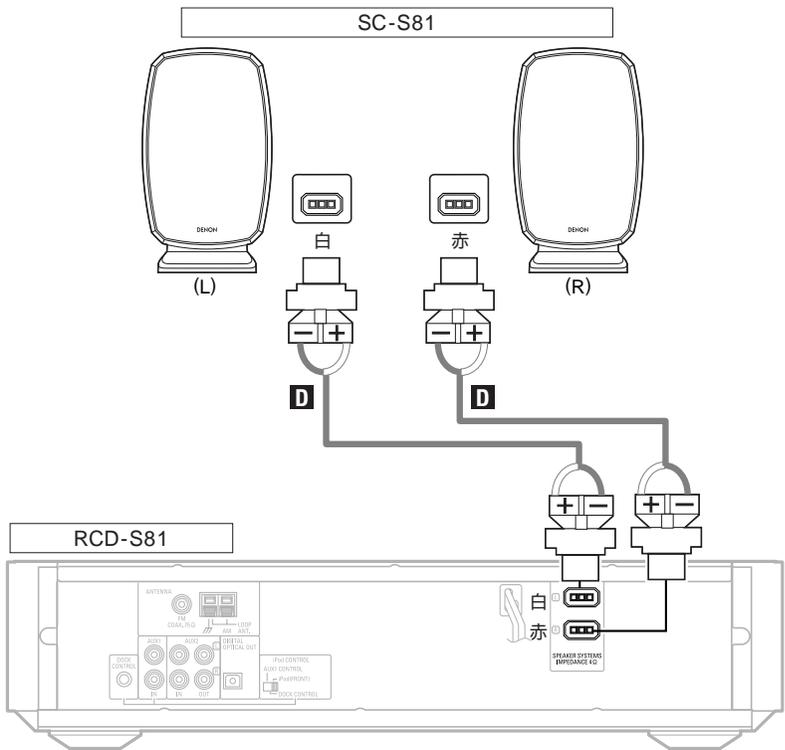
オーディオケーブル	
<p><b>A</b> アナログ接続(ステレオ)</p> <p>ピンプラグケーブル</p>	<p><b>D</b> スピーカー接続</p> <p>スピーカーケーブル</p>
信号方向	
オーディオ信号:	
<p><b>B</b> アナログ接続(ステレオ)</p> <p>ステレオミニプラグ</p>	<p><b>C</b> 光デジタル接続</p> <p>光伝送ケーブル</p>

## スピーカーを接続する

本機は付属されているスピーカーケーブルを使って、CDレシーバー（RCD-S81）とスピーカーシステム（SC-S81）を簡単に接続することができます。

### スピーカーインピーダンスのご注意

指定されたインピーダンス（4）以下のスピーカー（例：3）を使用して、長時間大音量で再生すると、温度が上昇して保護回路が動作します。保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、電源スイッチが青色で点滅します。このような場合は、電源コードを抜いてから本機が冷えるのを待ち、周囲の通風状態を良くしてください。また、スピーカーケーブルや入力ケーブルの配線を確認してください。その後、もう一度電源コードを挿入して、本機の電源を入れ直してください。本機の周囲の通風や配線に問題がないのにも関わらず保護回路が動作してしまう場合は、本機が故障していることも考えられますので、電源を切った上で、弊社お客様相談窓口または修理相談窓口にご連絡ください。

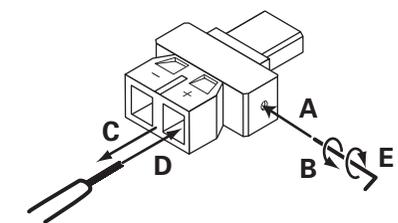


## スピーカーケーブルを変える

お好みのスピーカーケーブルに交換することができます。

ここでは、+側のケーブルをコネクタに装着する方法を説明します。  
-側のケーブルも同じ手順でおこなってください。

- 1** 六角レンチ（付属）を+側コネクタ側面の穴（矢印A）に挿入する。
- 2** 六角レンチを矢印Bの方向に回し、ケーブルの固定をゆるめる。
- 3** ケーブルを完全に抜き取る（矢印C）。切れた芯線がコネクタ内に残らないようにご注意ください。
- 4** ケーブル（芯線銅色）の被覆をむき、芯線をよじるか端末処理をして、矢印Dの方向に挿入する。
- 5** 六角レンチを矢印Eの方向に回し、ケーブルが抜けないようにしっかり固定する。

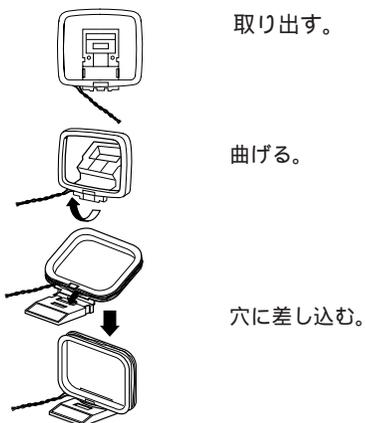


極性を間違えると、位相が変わり低音域のない不自然な再生音になります。

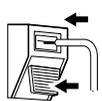
## アンテナを接続する

### 付属アンテナの接続

#### AMループアンテナの組み立てかた



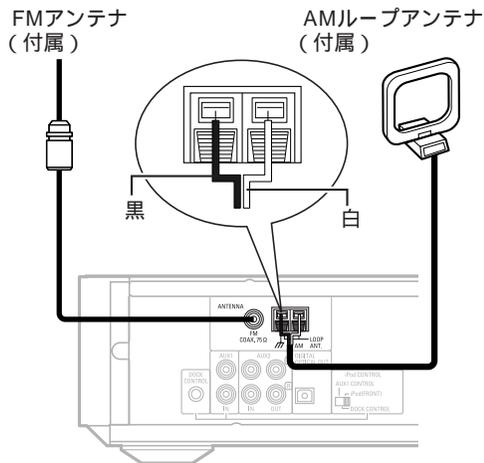
#### AMループアンテナの接続



レバーを押しながら、アンテナ線を挿入する。



レバーを離し、アンテナ線を固定する。



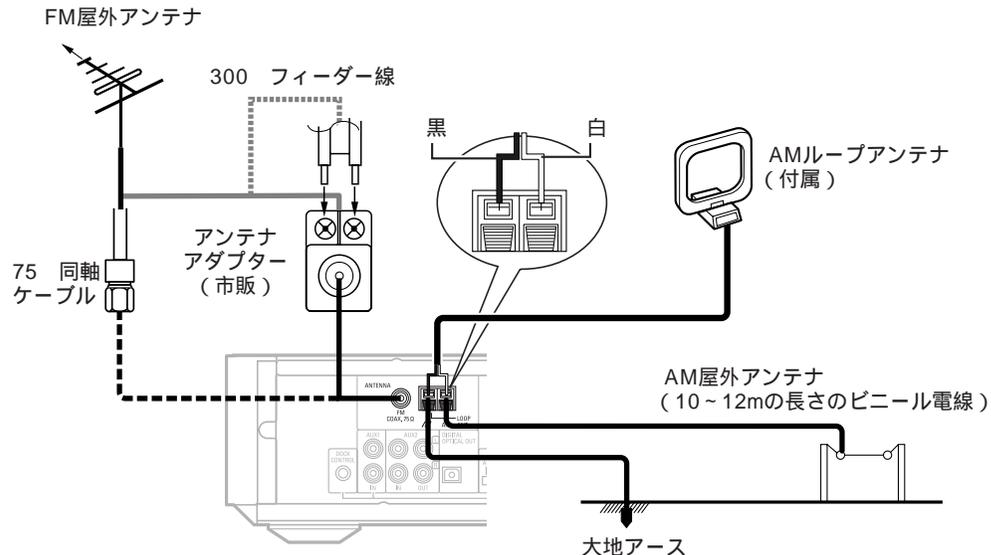
- アンテナの設置方法について  
放送を受信する（[P.18](#)ページ）、音を聞きながらアンテナを移動させ、最も雑音が少ない位置を探し、アンテナを設置する。  
FMアンテナはアンテナの先端をテープなどで固定してください。

#### ご注意

本機のアース端子（）はAMループアンテナのアースで、安全アースではありません。  
AMループアンテナが金属部分に接近していると、AM放送を良好に受信することができません。

## 屋外アンテナの接続

屋外アンテナをご使用になると、より良好な受信をおこなうことができます。



- 屋外アンテナを立てる場所について  
最も良く受信できる場所に立て、方向を変えてください。  
自動車や電車の影響を受けないよう、道路や線路から離して立ててください。

#### ご注意

送電線の下には立てないでください。  
送電線がアンテナに触れると大変危険です。  
落雷の恐れがありますので、あまり高いところには立てないでください。  
ガス管に接続して大地アースをとるのは大変危険です。絶対に接続しないでください。

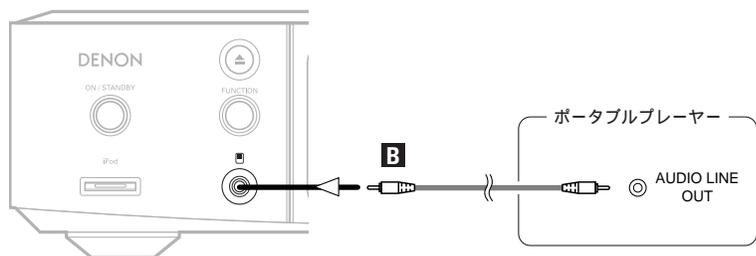
- FM屋外アンテナの接続について  
他の機器からの影響を受けにくい75 同軸ケーブルのご使用をおすすめします。  
付属のFMアンテナは、必ず外してください。



FMアンテナアダプターは、本機のアンテナ端子に合ったもの（市販）をご使用ください。  
アンテナケーブルのFMアンテナアダプターへの接続については、FMアンテナアダプターの取扱説明書をご覧ください。

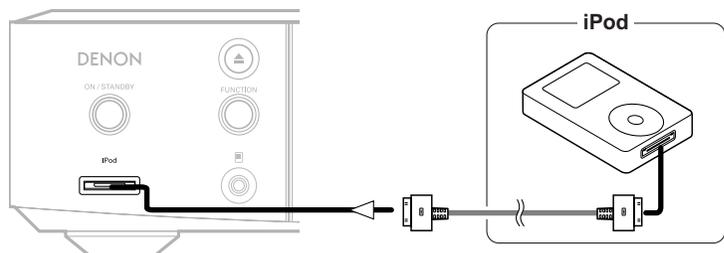
- AM屋外アンテナの接続について  
必ず大地アースを、アース端子（）に接続してください。  
付属のAMループアンテナも必ず接続してください。

ポータブルプレーヤーの接続

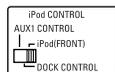


iPod®の接続

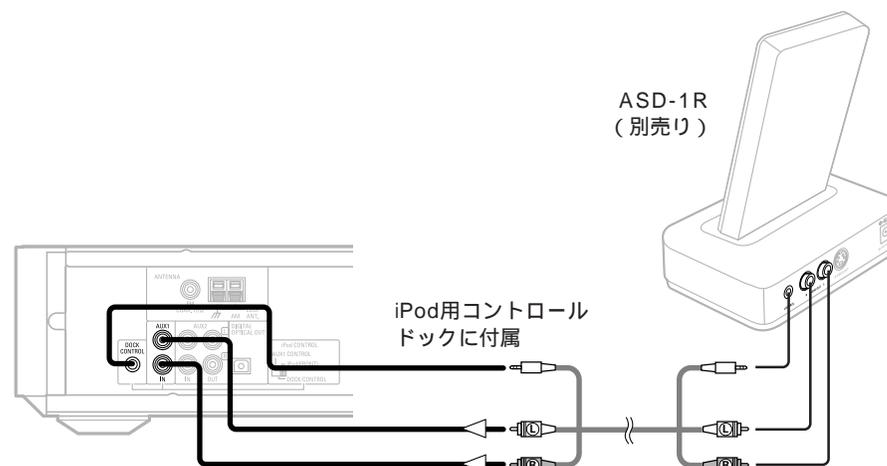
付属のiPodケーブルを使用する場合



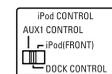
リアパネルの **iPod CONTROL** を “ iPod (FRONT)” に切り替える。



専用のiPod用コントロールドックを使用する場合



リアパネルの **iPod CONTROL** を “ DOCK CONTROL ” に切り替える。

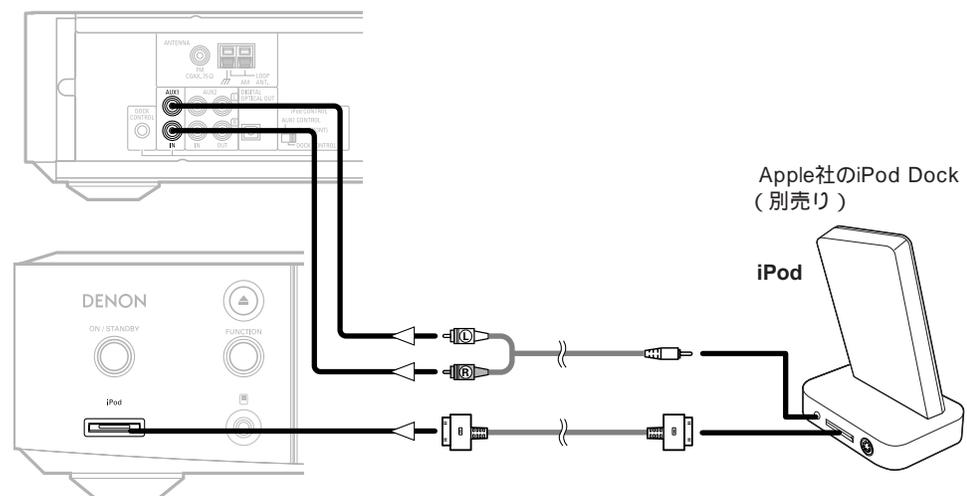


iPod用コントロールドックを使用する場合は、専用のiPod用コントロールドック (ASD-1R (別売り)) のご使用をおすすめします。  
 専用のiPod用コントロールドック (ASD-1R (別売り)) を接続する場合は、専用のiPod用コントロールドックに付属のシステム用ケーブルをご使用ください。  
 専用のiPod用コントロールドック (別売り) Apple社のiPod Dock (別売り) を接続すると、ファンクション表示は “ AUX1 ” から “ AUX1/iPod ” になります。  
 リアパネルの < **iPod CONTROL** > を切り替えるときは、電源を切ってください (電源を切る (スタンバイ状態にする) とき (17ページ))。

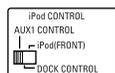


iPodは米国およびその他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標または登録商標です。

Apple社のiPod Dockを使用する場合

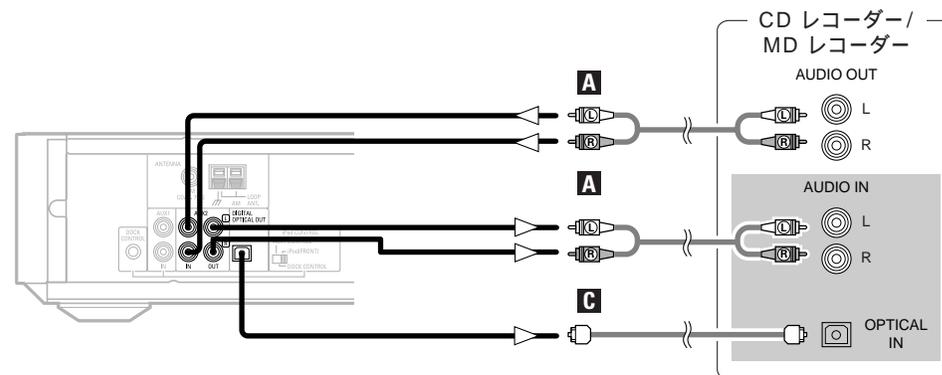


リアパネルの **iPod CONTROL** を “ AUX1 CONTROL ” に切り替える。

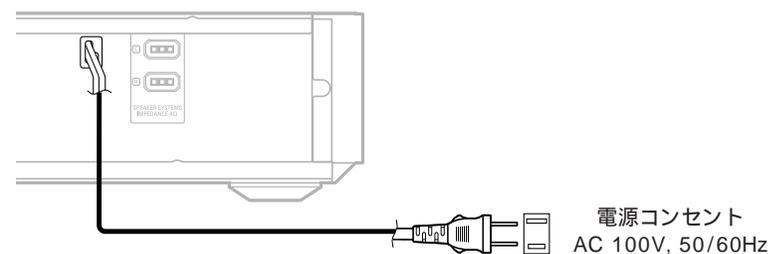


この方法では次のiPod Dockを使用することができます。  
iPod Dock M9868G/A (iPod with color display用)  
iPod Dock MA072G/A (iPod nano用)

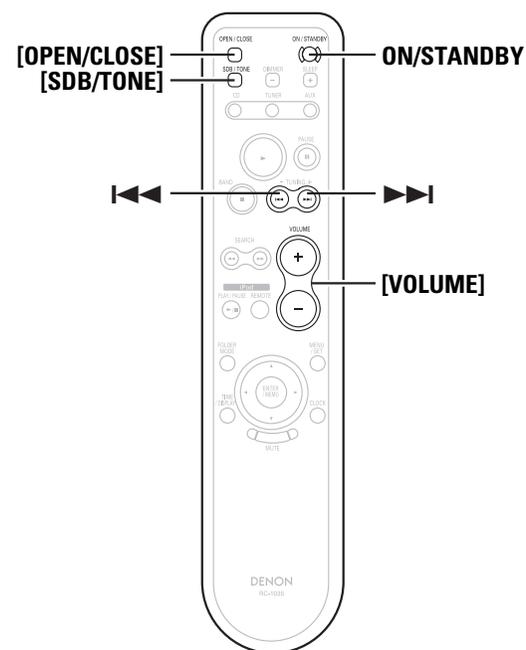
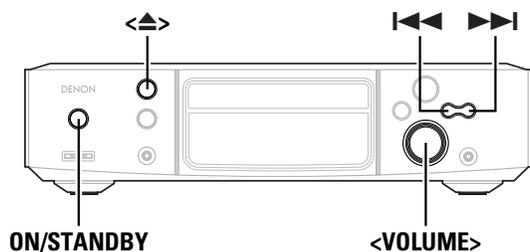
CDレコーダーまたはMDレコーダーの接続



電源コードの接続



## 基本操作のしかた



### 【操作説明のボタン名について】

< > : 本体のボタン  
 [ ] : リモコンのボタン  
 ボタン名のみ : 本体とリモコンのボタン

### 電源を入れる

**ON/STANDBY** を押す。

電源を入れると、前回使用していたときのファンクションになります（ラストファンクション機能）。

- 電源を切る（スタンバイ状態にする）とき：  
もう一度 **ON/STANDBY** を押す。



#### 電源表示について

電源ON.....青色  
 スタンバイ状態 .....赤色  
 低待機電力モード .....消灯（[23ページ](#)）  
 タイマースタンバイ状態 .....オレンジ色  
 低待機電力モード時にすべての表示が消灯していても微かな電力を消費しています。

### ディスクを入れる

（[7ページ](#)）

<▲> または [ **OPEN/CLOSE** ] でディスクトレイを開く。

- ディスクトレイを閉じるとき：  
もう一度 <▲> または [ **OPEN/CLOSE** ] を押す。

#### ご注意

ディスクトレイを開閉するときは、必ず電源を入れてください。  
 電源が切られているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。  
 ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

### 音量を調節する

< **VOLUME** > を回すか [ **VOLUME** ] を押す。

### 音質を調節する

**1** [ **SDB/TONE** ] で音質を選ぶ。



SDB : 重低音を強調します。

BASS : 低音を調節します。

TREBLE : 高音を調節します。

BALANCE : 左右の音量バランスを調節します。

S. DIRECT : フラットな音で再生します。

**2** 重低音を強調するとき：

-1 “SDB ON/OFF” の表示中に **◀◀** または **▶▶** で “ON” または “OFF” を選ぶ。

**2** 低音または高音を調節するとき：

-2 “BASS” または “TREBLE” のレベルの表示中に **◀◀** または **▶▶** で調節する。

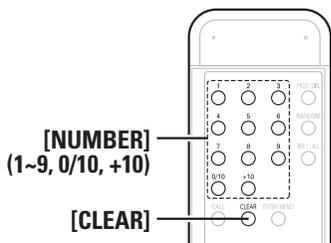
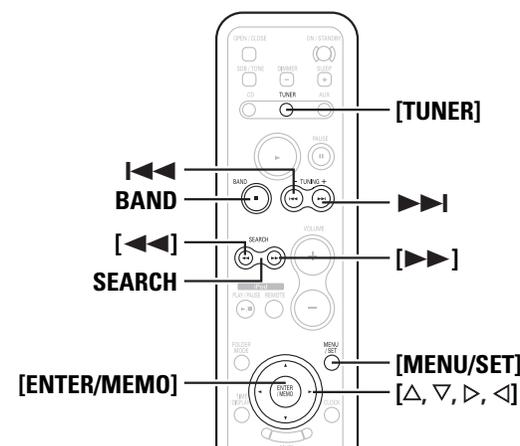
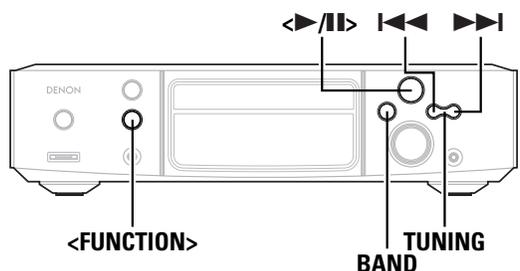
**2** 左右の音量バランスを調節するとき：

-3 “BALANCE” の表示中に **◀◀** または **▶▶** で調節する。



“S.DIRECT” を選んだときは、音質をフラットにします。  
 音質を調整するときは、“S.DIRECT” 以外のモードを選んでください。

# ラジオ放送の聞きかた



【操作説明のボタン名について】  
 < > : 本体のボタン  
 [ ] : リモコンのボタン  
 ボタン名のみ : 本体とリモコンのボタン

## ラジオ放送局を選ぶ

### 1 <FUNCTION> または [TUNER] (FUNCTION)

で“TUNER”を選ぶ。  
 受信周波数を表示します。



- リアパネルの **iPod CONTROL** を“iPod (FRONT)”に切り替え、付属のiPodケーブルを使用した場合に選ぶことができます。
- ポータブルプレイヤーを接続しているときのみ“Front IN”を選ぶことができます。
- リアパネルの **iPod CONTROL** を“AUX1 CONTROL”または“DOCK CONTROL”に切り替えてApple社のiPod Dock (別売り) または専用のiPod用コントロールドック (ASD-1R 別売り) を接続した場合に選ぶことができます。

### 2 BAND で、受信バンドを選ぶ。



### 3 SEARCH で放送局を受信する。

受信すると、“TUNED” が点灯します。

#### □ FM放送の受信状態の表示について

受信バンドが“AUTO”のときにステレオ放送を受信すると、“ST”表示が点灯します。  
 電波が弱く、安定したステレオ受信ができないときは、受信バンドを“MONO”にしてモノラル受信にしてください。“MONO”表示が点灯します。

#### □ オートチューニングについて

[<<<] [>>>] を押し続けると、自動的に放送局をサーチして受信します。  
 但し、電波が弱い放送局は受信できません。

オートチューニングを止めるとき：

[<<<] [>>>] を押す。

#### □ マニュアルチューニングについて

[<<<] [>>>] を押すたびに、受信周波数が変化します。



AM放送を受信しているときに近くでテレビなどをご使用になると、“ピー”という雑音が入る場合があります。このような場合は、本機をテレビなどからできるだけ離して設置してください。

本機ではラジオ放送以外に、テレビの音声(モノラル)を受信することができます。

本機で受信できるテレビの周波数は、以下の通りです。

- 1チャンネル： 95.75MHz
- 2チャンネル： 101.75MHz
- 3チャンネル： 107.75MHz

## 受信した放送局に 名前を付けてプリセットする

FM放送局とAM放送局を合わせて、最大60局までプリセットできます。

プリセットした放送に8桁までの名前を付けることができます。

**1** 放送局を受信する ( 18ページ )。  
受信周波数を表示します。

**2** [ ENTER/MEMO ] を続けて2回押す。  
名前入力モードになります。

**3** [ △ ] または [ ▽ ] で文字を選ぶ。

最大8文字まで入力できます。

入力できる文字は、以下の通りです。

```

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
^ ' ( ) * + , - . / = (スペース)
    
```

カーソルを移動するときは、[ < ] または [ > ] を押してください。

文字を削除するときは、削除する文字を選び、[ CLEAR ] を押してください。

**4** [ MENU/SET ] を押す。

**5** [ △ ] または [ ▽ ] でプリセット番号を選び、  
[ MENU/SET ] を押す。  
受信周波数と受信モードをプリセットします。

□ 放送局名を変更するとき：

変更する放送局名を呼び出し、[ ENTER/MEMO ] を2回押す。

「受信した放送局を名前を付けてプリセットする」の操作 **3** をおこなう。

□ プリセットのみをおこなうとき：

放送局を受信中に [ ENTER/MEMO ] を押す。

“プリセット番号”表示が点滅します。

「受信した放送局を名前を付けてプリセットする」の操作 **5** をおこなう。

### ご注意

すでにプリセットしてある番号にプリセットすると、古いプリセット内容は消去されて、新しい内容がプリセットされます。

## 放送局を自動的にプリセットする

(オートプリセット)

**1** < FUNCTION > または [ TUNER ] ( FUNCTION )  
で “ TUNER ” を選ぶ。  
受信周波数を表示します。

**2** < ►/II > を長押しする。  
“ AUTO PRESET ” を表示します。

**3** < ►/II > を押す。  
放送局を自動的にプリセットします。

□ オートプリセットを途中で止めるとき：  
**BAND** を押す。



アンテナの電波が弱い放送局はオートプリセットができません。このような場合は、マニュアルチューニングで受信し、「受信した放送局に名前を付けてプリセットする」の操作をおこなってください。

## プリセットした放送局を聞く

【例】プリセット番号「3」にプリセットしたFM放送を聞くとき

**[ 3 ]** ( NUMBER ) を押す。  
プリセット番号 “ 3 ” を表示します。

1 ~ 10番目のときは、[ 1 ] ~ [ 0/10 ] までのボタンを押してください。

11番目以上のときは、[ +10 ] を押した後に [ 1 ] ~ [ 0/10 ] までのボタンを押してください。

【例】12番目： [ +10 ] [ 2 ]

【例】20番目： [ +10 ] [ 0/10 ]

[ I◀◀ ] または [ ▶▶I ] でプリセット番号を選ぶこともできます。

□ チューニングモードとプリセットモードについて  
< I◀◀ > または < ▶▶I > を押して、受信周波数を選んだり (チューニングモード)、プリセットした放送局を選ぶこと (プリセットモード) ができます。

チューニングモードとプリセットモードの切り替え

チューニングモードに切り替える場合：

< BAND > を押しながら < I◀◀ > を押す。“ TUNING ” 表示が点滅します。

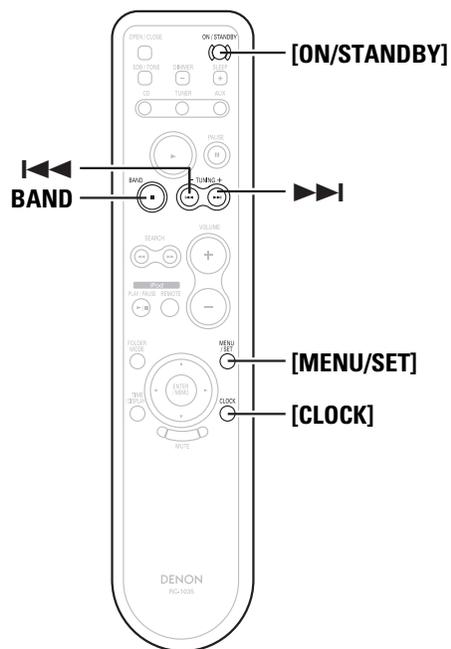
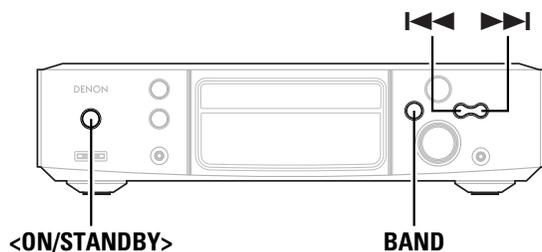
< I◀◀ >、< ▶▶I > は [ ◀◀ ] [ ▶▶ ] と同じ動作をします。

プリセットモードに切り替える場合：

< BAND > を押しながら < ▶▶I > を押す。“ PRESET ” 表示が点滅します。

< I◀◀ >、< ▶▶I > は [ I◀◀ ] [ ▶▶I ] と同じ動作をします。

## タイマー機能の使いかた



### 【操作説明のボタン名について】

< > : 本体のボタン  
 [ ] : リモコンのボタン  
 ボタン名のみ: 本体とリモコンのボタン

### 現在時刻を合わせる

本機の時計は、24時間表示です。

【例】現在時刻を「19時30分」に合わせるとき

- 1 [ **CLOCK** ] を押す。
- 2 [ **MENU/SET** ] を長押しする。  
 “ TIME Adj ” を表示します。  
 “ 時 ” 表示が点滅します。
- 3 ◀◀ または ▶▶ で、「時」を“ 19 ”に合わせる。  
 “ 19 ” が点滅します。
- 4 [ **MENU/SET** ] を押す。  
 “ 分 ” 表示が点滅します。
- 5 ◀◀ または ▶▶ で、「分」を“ 30 ”に合わせる。  
 “ 30 ” が点滅します。
- 6 時報などに合わせて、[ **MENU/SET** ] を押す。  
 “ TIME Adj ” を消灯します。  
 現在時刻を表示します。



時計が未設定のときに [ **MENU/SET** ] を押すと、時刻設定モードになります。  
 現在時刻を設定すると [ **CLOCK** ] で時刻を表示することができます ( 20ページ )。  
 スタンバイ時は [ **MENU/SET** ] でも時刻を表示することができます。

### ご注意

スタンバイ状態のときは、時刻設定ができません。電源を入れてからおこなってください。

### タイマー予約の前に

- タイマーの種類について  
 本機には、3つのタイマー機能があります。  
 エブリディタイマー：  
 毎日設定した時刻に再生ができます。  
 ワンスタイマー：  
 1回のみ設定した時刻に再生ができます。  
 スリープタイマー：  
 電源が切れる時間を10分間隔で最大90分まで設定できます。
- タイマーの優先順位について  
 すべてのタイマーの予約設定時刻範囲が重なっている場合は、スリープタイマーを優先します。  
 エブリディタイマーとワンスタイマーの予約設定時刻範囲が重なっている場合は、ワンスタイマーを優先します。
- 停電になったとき  
 電源を入れて、もう一度現在時刻を合わせてください ( 20ページ )。  
 タイマーの予約内容が消去されます。もう一度タイマー予約をおこなってください。  
 チューナーのプリセット内容が消去されてしまう場合があります。そのときは、プリセットをし直してください。

### ご注意

現在時刻が設定されていない場合、タイマースタンバイ表示 “ ⊕ ” は点灯しません。  
 タイマー予約されているときに、タイマースタンバイ表示 “ ⊕ ” が点灯します。

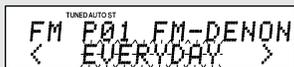
## エブリディタイマーまたはワンスタイマーを予約する

必ず現在時刻を設定してください( 20ページ)。

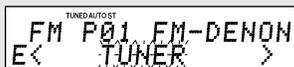
【例1】エブリディタイマーでプリセット番号「3」を聞くとき  
あらかじめ放送局をプリセットしてください( 19ページ)。

**1** [ MENU/SET ] を1回押す。  
“TIMER” が点滅表示します。

**2** ◀ または ▶▶ で “EVERYDAY” を選び、  
[ MENU/SET ] を押す。



**3** ◀ または ▶▶ で “TUNER” を選び、  
[ MENU/SET ] を押す。



**4** ◀ または ▶▶ でプリセット番号 “3” を選  
び、[ MENU/SET ] を押す。  
プリセットした内容を記憶します。

**5** 「現在時刻を合わせる」( 20ページ) の操作 **3**  
~ **5** をおこない、タイマーの開始時刻を設定する。

**6** 「現在時刻を合わせる」( 20ページ) の操作 **3**  
~ **5** をおこない、タイマーの終了時刻を設定する。

**7** ◀ または ▶▶ で、“1\_off/E\_on” を選び、  
[ MENU/SET ] を押す。  
タイマースタンバイ表示 “⊖” が点灯し、タイマー  
予約が完了します。

詳しくは、「エブリディタイマー/ワンスタイマーの動作  
について」( 22ページ) をご覧ください。

**8** ON/STANDBY を押す。  
電源がスタンバイ状態になり、電源表示がオレンジ  
色に点灯します。

タイマーの開始時刻になると、タイマー動作をおこない  
ます。

□タイマー設定中に設定を間違えたとき：  
操作 **3** ~ **6** の間に **BAND** を押す。  
[ MENU/SET ] で修正する項目を選び、正しく設定  
する。  
[ MENU/SET ] を押して、操作 **7** まで進む。

□タイマーの予約内容を確認するとき：  
左記の操作 **1**、**2** をおこなう。  
[ MENU/SET ] をくり返し押す。

□タイマーの予約内容を変更するとき：  
変更したい内容で、左記の操作 **1** ~ **8** をおこなう。  
タイマーの予約内容が新しい内容に変わります。  
タイマー予約の途中で変更するときは、**BAND** を押してか  
ら左記の操作 **3** ~ **8** をおこなってください。

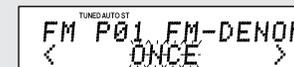
□タイマーの予約内容を消去するとき：  
左記の操作 **1**、**2** をおこなう。  
“EVERYDAY” または “ONCE” が表示されていると  
きに、**BAND** を長押しする。

□タイマー予約を止めるとき：  
「エブリディタイマー/ワンスタイマーの動作について」  
( 22ページ) の操作 **2** で “1\_off/E\_off” を選ぶ。

【例2】ワンスタイマーでCDを聞くとき  
あらかじめCDを入れておいてください。

**1** [ MENU/SET ] を1回押す。  
“TIMER” が点滅表示します。

**2** ◀ または ▶▶ で “ONCE” を選び、[ MENU/  
SET ] を押す。



**3** ◀ または ▶▶ で “CD” を選び、[ MENU/  
SET ] を押す。



**4** 「現在時刻を合わせる」( 20ページ) の操作 **3**  
~ **5** をおこない、タイマーの開始時刻を設定する。

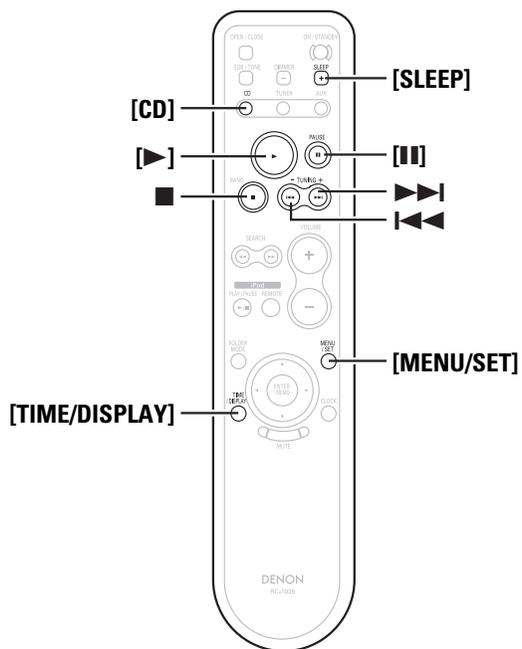
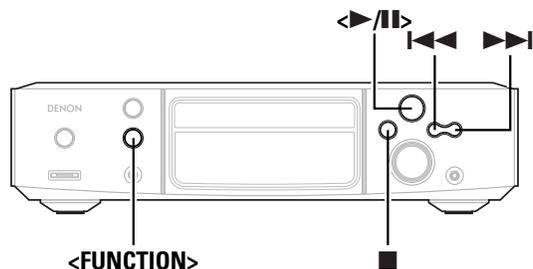
**5** 「現在時刻を合わせる」( 20ページ) の操作 **3**  
~ **5** をおこない、タイマーの終了時刻を設定する。

**6** ◀ または ▶▶ で、“1\_on/E\_off” を選び、  
[ MENU/SET ] を押す。  
タイマースタンバイ表示 “⊖” が点灯し、タイマー  
予約が完了します。

詳しくは、「エブリディタイマー/ワンスタイマーの動作  
について」( 22ページ) をご覧ください。

**7** ON/STANDBY を押す。  
電源がスタンバイ状態になり、電源表示がオレンジ  
色に点灯します。

タイマーの開始時刻になると、CDの1曲目から再生をは  
じめます。



【操作説明のボタン名について】  
 < > : 本体のボタン  
 [ ] : リモコンのボタン  
 ボタン名のみ : 本体とリモコンのボタン

### エブリディタイマー/ワンスタイマーの動作について

「エブリディタイマー/ワンスタイマーを予約する」(P.21 ページ)でタイマー予約を完了した後、タイマー動作をおこなうタイマーを選びます。

1 [MENU/SET] を続けて2回押す。  
 現在の設定内容を表示します

2 I◀◀ または ▶▶I でタイマー動作をおこなうタイマーを選ぶ。

- 1\_off / E\_off : ワンスタイマーとエブリディタイマーが動作しない。
- 1\_on / E\_on : ワンスタイマーとエブリディタイマーが動作する。
- 1\_off / E\_on : エブリディタイマーのみ動作する。
- 1\_on / E\_off : ワンスタイマーのみ動作する。

エブリディタイマーのみ予約した場合に I◀◀ または ▶▶I を押すと、以下のように切り替わります。

1\_off / E\_on ↔ 1\_off / E\_off

ワンスタイマーのみ予約した場合に I◀◀ または ▶▶I を押すと、以下のように切り替わります。

1\_off / E\_off ↔ 1\_on / E\_off

□タイマー動作をおこなわないとき：  
 I◀◀ または ▶▶I でタイマースタンバイ表示 “⊖” を消灯させてください。

### スリープタイマーを予約する

【例】80分後に電源を切るとき

1 再生中に [SLEEP] を押す。  
 “SLEEP” 表示が点滅します。



2 “SLEEP” 表示が点滅している間に [SLEEP] をくり返し押して、“80” を選ぶ。  
 約5秒後、“SLEEP” 表示が点灯します。  
 80分後に電源がスタンバイ状態になります。

□スリープタイマーを止めるとき：  
 [SLEEP] をくり返し押して、“OFF” を選ぶ。

✎ スリープタイマー動作中に [SLEEP] を押すと、残り時間が表示されます。  
 残り時間を表示しているときに [SLEEP] を押すと、設定時間が “OFF” になりますので、もう一度設定してください。

## その他の機能の使いかた

### 低待機電力の設定をおこなう

#### スタンバイ時の時刻表示時間を設定する

- 1 MENU/SET で “ TIME DISPLAY ” を選ぶ。
- 2 ◀◀ または ▶▶ で “ 10SEC ” または “ CONTINUE ” を選び、[ MENU/SET ] を押す。  
10 SEC (お買い上げ時) : 10秒で自動消灯  
CONTINUE : 連続表示

### 低待機電力モード (ECOモード) を設定する

- 1 MENU/SET で “ ECO MODE ” を選ぶ。
- 2 ◀◀ または ▶▶ で “ ON ” または “ OFF ” を選び、[ MENU/SET ] を押す。  
ON (お買い上げ時) : 低待機電力モード  
OFF : 通常モード  
電源の表示については、17ページを参照してください。

### スピーカーの設定をおこなう

ご使用になるスピーカーや設置状況に合わせて、最適な音質が得られるように設定することができます。

#### スピーカーの重低音の設定をおこなう

ご使用のスピーカーに合わせて設定します。

- 1 [ MENU/SET ] で “ SPK OPTIMISE ” を選ぶ。
- 2 ◀◀ または ▶▶ で “ ON ” または “ OFF ” を選び、[ MENU/SET ] を押す。

ON (お買い上げ時) : SC-S81 (本機に付属のスピーカー) に最適な設定です。(通常はこの設定にすることを勧めます。)

OFF : 付属以外のスピーカーを使用するときに設定します。(スピーカーの接続やご注意については「スピーカーを接続する」(13ページ)をご覧ください。)

### スピーカー位置の設定をおこなう

スピーカーの設置場所を設定します。  
“ SPK OPTIMISE ” が “ OFF ” の場合は設定できません。

- 1 MENU/SET で “ SPK LOCATION ” を選ぶ。
- 2 ◀◀ または ▶▶ で “ ON WALL ” または “ ON SHELF ” を選び、[ MENU/SET ] を押す。  
ON WALL : スピーカーを壁に設置しているときや、スピーカーのすぐ後ろに壁があるときに設定します。  
ON SHELF (お買い上げ時) : 付属のスピーカースタンドを使用するときに設定します。

### 部屋の響きに合わせた設定をおこなう

部屋の音の響きの大きさを設定します。  
“ SPK OPTIMISE ” が “ OFF ” の場合は設定できません。

- 1 MENU/SET で “ ROOM DAMPING ” を選ぶ。
- 2 ◀◀ または ▶▶ で “ LOW ”、“ MID ” または “ HIGH ” を選び、[ MENU/SET ] を押す。  
LOW : 音の響きが少ない部屋 (高音域がもの足りない場合) のときに設定します。  
MID (お買い上げ時) : 音の響きが適度な部屋のときに設定します。  
HIGH : 音の響きが多い部屋 (高音域が多いと感じられる場合) のときに設定します。

## ディスクの再生のしかた

### 再生をはじめめる

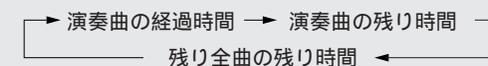
- 1 < FUNCTION > または [ CD ] (FUNCTION) で “ CD ” を選ぶ。



- 1 リアパネルの iPod CONTROL を “ iPod (FRONT) ” に切り替え、付属の iPod ケーブルを使用した場合に選ぶことができます。
- 2 ポータブルプレイヤーを接続しているときのみ “ Front IN ” を選ぶことができます。
- 3 リアパネルの iPod CONTROL を “ AUX1 CONTROL ” または “ DOCK CONTROL ” に切り替えて Apple 社の iPod Dock (別売り) または専用の iPod 用コントロールドック (ASD-1R 別売り) を接続した場合に選ぶことができます。

- 2 < ▶/|| > または [ ▶ ] を押す。  
“ ▶ ” 表示が点灯し、再生をはじめます。

ディスクに収録されているすべての曲の再生が終わると、自動的に停止します。  
[ TIME/DISPLAY ] で表示内容を切り替えることができます。



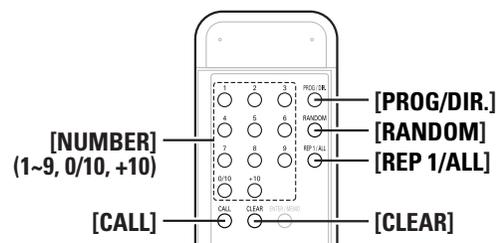
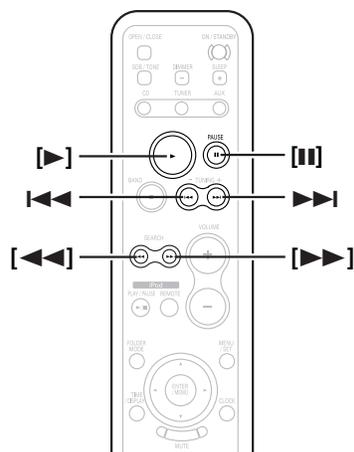
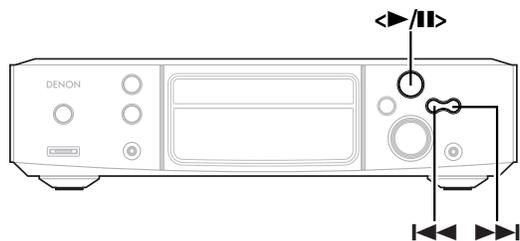
### 再生を停止する

再生中に ■ を押す。

### 再生を一時停止する (ポーズ)

再生中に < ▶/|| > または [ || ] を押す。  
“ || ” 表示が点灯し、再生を一時停止します。

□ 再び再生するとき :  
< ▶/|| > または [ ▶ ] を押す。



【操作説明のボタン名について】  
 < > : 本体のボタン  
 [ ] : リモコンのボタン  
 ボタン名のみ: 本体とリモコンのボタン

### 曲の早送りをおこなう (サーチ)

再生中に [▶▶] を長押しする。

ボタンから指を離すと、そこから通常の再生をおこないます。

□より高速に曲の早送りをおこなうとき：  
一時停止中に [▶▶] を長押しする。



通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

### 曲の早戻しをおこなう (サーチ)

再生中に [◀◀] を長押しする。

ボタンから指を離すと、そこから通常の再生をおこないます。

□より高速に曲の早戻しをおこなうとき：  
一時停止中に [◀◀] を長押しする。



通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

### 曲の頭出しをおこなう (スキップ)

再生中に ◀◀◀ または ▶▶▶ を押す。

ボタンを続けて押すと、次の動作をおこないます。

▶▶▶ : 次々と後ろの曲の頭出し  
 ◀◀◀ : 次々と前の曲の頭出し

### 聞きたい曲を再生する (ダイレクト再生)

[ NUMBER ] ( 1 ~ 9, 0/10, +10 ) で曲を選ぶ。

1 ~ 10曲目のときは、[ 1 ] ~ [ 0/10 ] までのボタンを押してください。

11曲目以上のときは、[ +10 ] を押した後に [ 1 ] ~ [ 0/10 ] までのボタンを押してください。

【例】4曲目 : [ 4 ]

【例】12曲目 : [ +10 ][ 2 ]

【例】20曲目 : [ +10 ][ 0/10 ]

### 聞きたい曲を好きな順番に聞く (プログラム再生)

最大25曲までプログラムすることができます。

**1** 停止中に [ PROG/DIR. ] を押す。  
“PGM” を表示します。

**2** [ NUMBER ] ( 1 ~ 9, 0/10, +10 ) で曲を選ぶ。

【例】3曲目、12曲目、7曲目とプログラムする場合：  
[ 3 ][ +10 ][ 2 ][ 7 ]

**3** < ▶▶/|| > または [ ▶ ] を押す。  
プログラムされた順に再生します。

- プログラムされた曲を確認するとき：  
停止中に [ **CALL** ] を押す。



[ **CALL** ] を5秒以上操作しない場合は、プログラム総時間表示に戻ります。

- プログラムした曲を変更するとき：  
停止中に [ **PROG/DIR.** ] を押してプログラム曲番表示を消した後、もう一度操作 **1**、**2** をおこなう。
- プログラムした曲を取り消すとき：  
停止中に [ **CLEAR** ] を押す。  
ボタンを押すたびに、プログラムされた最終曲から順に取り消します。
- プログラム再生を止めるとき：  
停止中に [ **PROG/DIR.** ] でプログラム曲番表示を消す。



プログラム再生中に [ **REP 1/ALL** ] を押すと、プログラムされた曲をリピート再生します。

**ご注意**

プログラム選曲をした後にディスプレイを開くと、プログラムの内容は消去されます。

**順不同に聞く (ランダム再生)**

- 1** 停止中に [ **RANDOM** ] を押す。  
“ **RANDOM** ” 表示が点灯します。
- 2** <▶/II> または [ ▶ ] を押す。

- ランダム再生を止めるとき：  
再生を停止させてから [ **RANDOM** ] を押す。  
“ **RANDOM** ” 表示が消灯します。

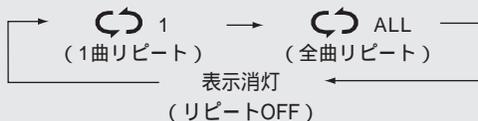


ランダム再生中に [ **REP 1/ALL** ] を押すと、一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生されます。毎回違った曲順でランダム再生が楽しめます。

**曲をくり返して聞く (リピート再生)**

**1曲のみをくり返して聞く (1曲リピート再生)**

- 1** 停止中または再生中に [ **REP 1/ALL** ] を1回押す。  
“ ◀ 1 ” 表示が点灯します。



- 2** ◀◀ または ▶▶ で聞きたい曲番を選ぶ。
- 3** <▶/II> または [ ▶ ] を押す。  
選ばれた曲をくり返し再生します。

- 1曲リピート再生を止めるとき：  
“ ◀ 1 ” 表示が消灯するまで [ **REP 1/ALL** ] を押す。

**全曲をくり返して聞く (全曲リピート再生)**

- 1** 停止中または再生中に [ **REP 1/ALL** ] を続けて2回押す。  
“ ◀ ALL ” 表示が点灯します。
- 2** <▶/II> または [ ▶ ] を押す。  
再生中のディスクをくり返し再生します。

- 全曲リピート再生を止めるとき：  
“ ◀ ALL ” 表示が消灯するまで [ **REP 1/ALL** ] を押す。

## MP3やWMAファイルの再生のしかた

### MP3やWMAファイルを再生する前に

インターネットのホームページ上には、MP3形式やWMA (Windows Media Audio) 形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽 (ファイル) をCD-R/CD-RWに書き込むことにより、本機で再生することができます。



Windows Media および Windows のロゴは、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

#### □フォルダの再生順序について

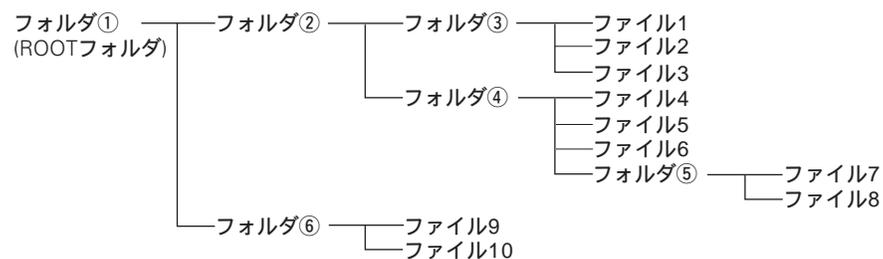
MP3やWMAファイルが記録されたフォルダが複数ある場合は、本機がディスクを読み取るときに、自動的に各フォルダにフォルダ番号を設定します。

フォルダの切り替えは、この設定されたフォルダ番号でおこないます。フォルダに再生可能なファイルがない場合は、そのフォルダを無視します。

#### □ファイルの再生順序について

ファイルの再生順序は、ディスク作成時のフォルダの構成順位や、記録時にディスクに記録される情報により決められます。次のフォルダ構成例では、ファイル1、2、3...の順に再生されます。

ディスクに記録される情報は、ライティングソフトにより異なります。そのため、ご希望の順番で再生されない場合があります。



□再生するフォルダやファイルの設定について (フォルダモード/ファイルモード) [ **FOLDER MODE** ] で切り替えます。

#### フォルダモード

“FLD” 表示が点灯します。

選ばれたフォルダだけを再生します。

【例】フォルダ を選んだ場合

ファイル4、5、6を再生します。

フォルダ は、別フォルダとして扱われるため、ファイル7、8は再生しません。

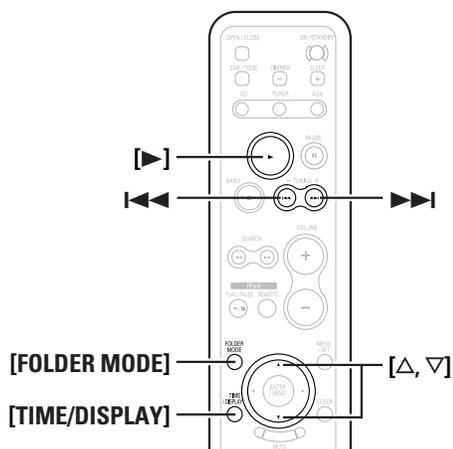
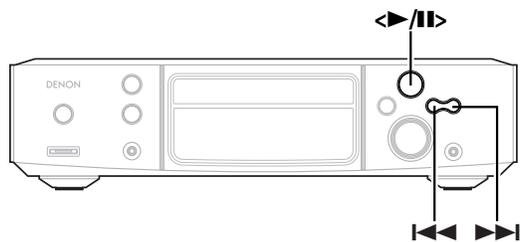
ディスクモード (フォルダモード : OFF)

“FLD” 表示が消灯します。

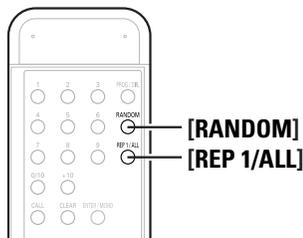
選ばれたフォルダやファイル以降のすべてのフォルダ内のファイルを再生します。

【例】フォルダ のファイル3を選んだ場合

ファイル3以降のすべてのファイルを再生します。



[FOLDER MODE] [TIME/DISPLAY]



[RANDOM] [REP 1/ALL]

【操作説明のボタン名について】  
 < > : 本体のボタン  
 [ ] : リモコンのボタン  
 ボタン名のみ: 本体とリモコンのボタン

## MP3やWMAファイルを再生する

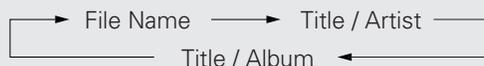
**1** MP3/WMA形式の音楽ファイルを書き込んだCD-R/CD-RWをディスクトレイに入れる ( 7 ページ )。

**2** フォルダモードのとき：  
**-1** [ FOLDER MODE ] で “ FLD ” 表示を点灯させ、  
 [ Δ ∇ ] で再生するフォルダを選ぶ。  
 選ばれたフォルダを表示します。

**2** ディスクモードのとき：  
**-2** [ FOLDER MODE ] で “ FLD ” 表示を消灯させ、  
 ◀▶ または ▶▶ で再生するファイルを選ぶ。  
 選ばれたファイルを表示します。

**3** <▶/||> または [ ▶ ] を押す。  
 ファイル名、タイトル/アーティスト名、タイトル/アルバム名をスクロール表示し、再生をはじめます。

タイトル名、アーティスト名、アルバム名は、それぞれがディスクに記録されているときのみ表示します。  
 [ TIME/DISPLAY ] で表示内容を切り替えることができます。



□再生するフォルダを変えるとき：  
 [ Δ ∇ ] でもう一度フォルダを選ぶ。

□再生するファイルを変えるとき：  
 停止中に ◀▶ または ▶▶ でもう一度ファイルを選ぶ。



再生中または一時停止中にフォルダを選んだ場合は、選んだフォルダの1曲目で再生または一時停止します。  
 「著作権保護されているWMAファイル」または「正しく再生できないファイル」を選んでいているときには、“ Not Support ” を表示します。このような場合は、◀▶ または ▶▶ で別のファイルを選んでください。

## MP3やWMAファイルを順不同に聞く (フォルダ/ディスクランダム再生)

**1** 「MP3やWMAファイルを再生する」の操作 **2-1** または **2-2** をおこなう。

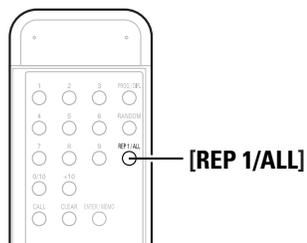
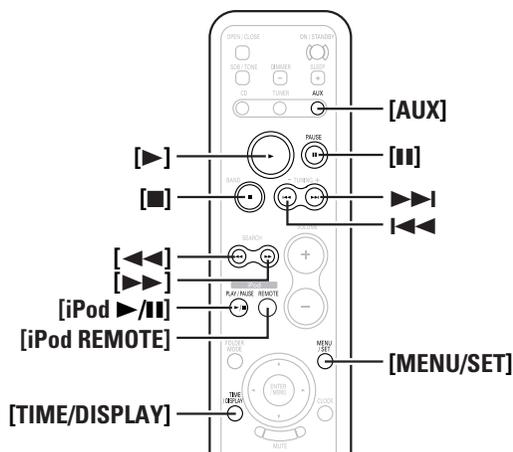
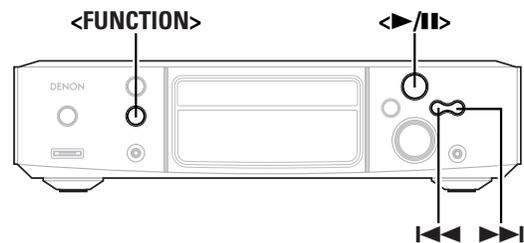
**2** [ RANDOM ] を押す。  
 “ RANDOM ” 表示が点灯します。

**3** <▶/||> または [ ▶ ] を押す。  
 選ばれたフォルダまたはディスクの中でランダム再生します。

□フォルダ/ディスクランダム再生モードを解除するとき：  
 再生を停止させてから [ RANDOM ] を押す。  
 “ RANDOM ” 表示が消灯します。



ランダム再生中に [ REP 1/ALL ] を押すと、一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生します。毎回違った曲順でランダム再生が楽しめます。



【操作説明のボタン名について】

< > : 本体のボタン  
 [ ] : リモコンのボタン  
 ボタン名のみ : 本体とリモコンのボタン

MP3やWMAファイルをくり返して聞く  
 (フォルダ/ディスクリピート再生)

1 「MP3やWMAファイルを再生する」( 27ページ) の操作 2-1 または 2-2 をおこなう。

2 [ REP 1/ALL ] でリピートモードを選ぶ。

フォルダモードのとき



ディスクモードのとき



3 <▶/||> または [▶] を押す。  
 選ばれたフォルダまたはディスクをくり返し再生します。

□フォルダ/ディスクリピート再生を止めるとき：  
 “<”表示が消灯するまで [ REP 1/ALL ] を押す。

ご注意

本機で対応している規格は、「MPEG-1 Audio Layer-3」(サンプリング周波数は、44.1kHzおよび48kHz)です。それ以外の「MPEG-2 Audio Layer-3」、「MPEG-2.5 Audio Layer-3」およびMP1、MP2などには対応していません。  
 MP3やWMA形式で記録されたディスクでは、プログラム再生ができません。  
 サンプリング周波数は、サンプリングコンバータにより44.1kHzとして出力されます。  
 MP3ファイルをCD-R/CD-RWに書き込む場合は、ライティングソフトのフォーマットを“ISO9660レベル1”にしてください。他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。また、ライティングソフトによっては、ISO9660フォーマットで記録できないものがあります。このような場合は、ISO9660フォーマットのライティングソフトをご使用ください。

ご注意

MP3ファイルはビットレートが高いほど音質が良くなります。MP3の対応ビットレートは32～320kbps、WMAは64～160kbpsです。本機では128kbps以上のビットレートで記録されたMP3ファイルのご使用をおすすめします。

MP3やWMAファイルには必ず拡張子“.MP3”“.WMA”を付けてください。“.MP3”“.WMA”以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。(マッキントッシュのパソコンの場合、半角英数字大文字8文字以内のファイル名の最後に拡張子“.MP3”を付けてCD-R/CD-RWに記録することにより、MP3ファイルを再生できます。)

パケットライトソフトやプレイリストには対応していません。

フォルダ名やファイル名は、32文字まで表示できます。本機は、MP3 ID3-Tagのバージョン1.xおよび2.xに対応しています。(半角英数字のみ表示可能です。)

可変ビットレート再生中にサーチおよびポーズ操作をおこなうと、正しく時間表示されない場合があります。

[ TIME/DISPLAY ] で時間表示の切り替えはできません。タイトル名やアーティスト名が記録されているファイルでは、再生中または一時停止中に [ TIME/DISPLAY ] でタイトル名やアーティスト名を表示することができます。書き込みを終了していないマルチセッションディスクやCD-R/CD-RWも再生できますが、10セッション以内で閉じたディスクや書き込みを終了したディスクの再生をおすすめします。

WMAファイルのメタタグは、タイトル、アーティスト、アルバムに対応しています。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数は、512個(フォルダ数とファイル数の合計)です。また、最大フォルダ数は256個です。

著作権保護されたWMAファイルは再生できません。(“Not Support”を表示します。◀◀または▶▶で別のファイルを選んでください。)

## その他の操作のしかた

### iPod®を再生する

#### ご注意

iPodは、著作権のないコンテンツまたは法的に複製や再生を許諾されたコンテンツを、個人が私的に複製や再生をおこなうために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

iPodを本機と接続して使用しているときに、iPodのデータが万一消失あるいは損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

iPodの種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

iPodのソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合がありますので、最新バージョンのソフトウェアをご使用ください。なお、最新バージョンのソフトウェアについての情報は、アップルコンピュータ株式会社のウェブサイトをご覧ください。

本機は、日本語表示に対応していません。

### 付属のiPodケーブルを使用する

本機のiPodコネクタにiPodを接続して、iPodの音楽を聞くことができます。

**1** 本機とiPodを付属のiPodケーブルで接続する (  15ページ )。

**2** < **FUNCTION** > または [ **AUX** ] ( **FUNCTION** ) で “ iPod ” を選ぶ。

**3** [ **iPod REMOTE** ] で再生モードを選ぶ。

Browse iPod ↔ Remote iPod

Browse iPod :  
本機のディスプレイにメニューや曲情報を表示します。

Remote iPod :  
iPodのディスプレイにメニューや曲情報を表示します。

**4** [ **iPod ▶/||** ] を押す。

### 専用のiPod用コントロールドックを使用する

iPod用コントロールドック ( ASD-1R ( 別売り ) ) を使用して、iPodの音楽を聞くことができます。

iPod用コントロールドックについては、お買い上げの販売店または当社のお客さま相談窓口にお問い合わせください。

**1** iPod用コントロールドックと本機を接続する (  15ページ )。

**2** < **FUNCTION** > または [ **AUX** ] ( **FUNCTION** ) で “ AUX1/iPod ” を選ぶ。

**3** 「付属のiPodケーブルを使用する」の操作**3**、**4**をおこなう。

### Apple社のiPod Dockを使用する

Apple社のiPod Dock ( 別売り ) を使用して、iPodの音楽を聞くことができます。

**1** iPod Dockと本機を接続する (  16ページ )。

**2** < **FUNCTION** > または [ **AUX** ] ( **FUNCTION** ) で “ AUX1/iPod ” を選ぶ。

**3** 「付属のiPodケーブルを使用する」の操作**3**、**4**をおこなう。



ファンクションが “ iPod ” または “ AUX1/iPod ” のときに操作できるリモコンのボタンについては、12ページを参照してください。

iPodを操作する際は、iPodの取扱説明書も合わせてご覧ください。

《その他の操作のしかた》

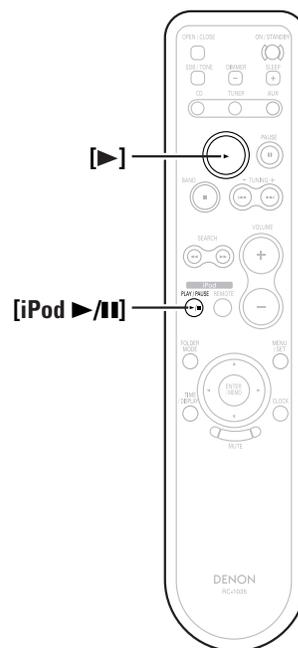
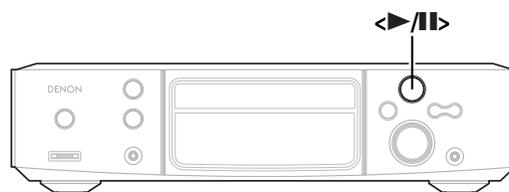
## ポータブルプレーヤーを再生する

接続のしかたは、15ページをご覧ください。

**1** < **FUNCTION** > または [ **AUX** ] ( **FUNCTION** )  
で “ Front IN ” を選ぶ。

**2** ポータブルプレーヤーを再生する。

操作のしかたは、ポータブルプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。



### 【操作説明のボタン名について】

< > : 本体のボタン  
[ ] : リモコンのボタン  
ボタン名のみ : 本体とリモコンのボタン

## システム操作のしかた

### オートパワーオン機能

本機がスタンバイ状態のときに <▶/||>、[▶] または [ iPod ▶/|| ] を押す。

本機の電源が入り、ファンクションが自動的に切り替わります。

本機にディスクが入っているときは、<▶/||> または [▶] でディスクの再生をはじめます。

### オートファンクション機能

<▶/||>、[▶] または [ iPod ▶/|| ] を押す。

本機のファンクションが自動的に切り替わり、再生をはじめます。

## その他について

### 故障かな？と思ったら

各接続は正しいですか

取扱説明書に従って正しく操作していますか

スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

もしお買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客さま相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

#### 共通

現象	原因	処置	関連ページ
電源を入れてもディスプレイが点灯せず、音が出ない。	電源プラグがコンセントから外れている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	16
リモコンを操作しても正しく動作しない。	乾電池が消耗している。	新しい乾電池と交換してください。	8
	リモコンの距離が離れ過ぎている。	近づいて操作してください。	8
	本体とリモコンの間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。	8
	リモコンの操作方向の角度が正面から30°を超えている。	本体の正面方向からリモコンを操作してください。	8
	乾電池の極性が違う。	乾電池を正しく入れてください。	8

#### レシーバー部

現象	原因	処置	関連ページ
ディスプレイは点灯するが音が出ない。	スピーカーケーブルの接続が不完全。	しっかり接続してください。	13
	入力切り替えが不適当。	正しい位置に接続してください。	15、16
	音量が絞ってある。	適当な音量に調節してください。	17

現象	原因	処置	関連ページ
片側だけ音が出ない。	スピーカーケーブルの接続が不完全。 入力ケーブルの接続が不完全。 左右のバランスがずれている。	しっかり接続してください。	13
		しっかり接続してください。 左右のバランスを調節してください。	15、16 17
ステレオのときに、各楽器の位置が入れ替わっている。	スピーカーケーブルまたは入力ケーブルの接続が逆になっている。	接続を確かめてください。	13、15、16
FM放送に“ザー”という雑音が入る。	アンテナケーブルが正しく接続されていない。 マイコンを搭載した電子機器などから雑音が入っている。 または、受信している放送局の電波が弱い。	アンテナケーブルを正しく接続してください。	14
		機器の配置や接続ケーブル、アンテナなどの位置や向きを変えてください。 屋外アンテナを接続してください。	14 14
AM放送に“シー”や“ザー”という雑音が入る。	テレビなどから雑音が入っている。または、放送局の干渉音が聞こえる。	テレビを消してください。	—
		AMループアンテナの位置や向きを変えてください。 屋外アンテナを接続してください。	14 14
AM放送に“ブーン”という雑音(ハム)が入る。	電源コードを伝わってくる電波によって妨害を受けている。	電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。 屋外アンテナを接続してください。	— 14
iPodを接続中、ディスプレイに“?”が表示される。	iPodのデータの中に、日本語の文字が含まれている。	日本語の文字がiPodのデータに含まれている場合は、“?”文字に置き換えて表示します。(故障ではありません。)	29
iPodを接続して再生しても音が出ない。	接続が間違っている。 リアパネルのiPod CONTROLの設定が間違っている。	正しく接続してください。 リアパネルのiPod CONTROLを正しい位置に設定してください。	15、16 15、16

□CDプレーヤー部

現象	原因	処置	関連ページ
ディスクを入れてもディスプレイが“00Tr 00:00”表示になる。	ディスクが正しく入っていない。	ディスクを入れ直してください。	7
プレイボタンを押しても再生しない。	ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	7
音が出ない。または歪む。	各機器との接続が不完全。レーザーの各種調節やファンクションが不適切。	接続を確認してください。レーザーのつまみ類やファンクションを確認し、調節してください。	16 -
ディスクの指定場所が正しく再生できない。	ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	7、8
プログラム再生ができない。	プログラム方法が違っている。 MP3/WMAディスクを再生している。	正しくプログラムしてください。 MP3/WMAディスクでは、プログラム再生ができません。	24、25 -
CD-R/CD-RWが再生できない。	ファイナライズされていない。 記録状態が悪い。またはディスク自体の品質が悪い。	ファイナライズをしてから再生してください。 正しく記録されたディスクをご使用ください。	7 -
MP3やWMA形式で記録されたファイルを再生するときに“Not Support”が表示される。	「著作権保護されたWMAファイル」または「正しく再生できないファイル」を選んでいる。	◀◀ または ▶▶ ボタンで別のファイルを選んでください。	28

保証とサービスについて

- 1 この商品には保証書を添付しております。  
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。  
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。  
但し、保証期間内でも保証書を添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。  
詳しくは、保証書をご覧ください。
- 3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。  
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

## 主な仕様

### □ レシーバー部

実用最大出力：	50W + 50W ( JEITA 負荷4 )
出力端子：	スピーカー：負荷4
オーディオ入出力端子：	AUX1入力端子、AUX2入出力端子、デジタル音声出力端子、iPod端子、ポータブル入力ジャック、ヘッドホンジャック
受信周波数帯域：	FM：76MHz～108MHz AM：522kHz～1629kHz
受信感度：	FM：1.5 μV/75 AM：20 μV
FMステレオ分離度：	35dB ( 1kHz )

### □ CDプレーヤー部

ワウ・フラッター：	測定限界 ( ±0.001% W.peak ) 以下
サンプリング周波数：	44.1 kHz
光源：	半導体レーザー
アナログ音声出力：	出力レベル：2.0Vrms ( AUX2出力端子 )

### □ 時計/タイマー部

時計方式：	電源周波数同期方式 ( 月差 ±30秒以内 )
タイマー：	エブリディタイマー ( 1系統 ) ワンスタイマー ( 1系統 ) スリープタイマー ( 最大90分 )

### □ スピーカー部

スピーカーシステム：	SC-S81
型式：	2ウェイ/2スピーカー、バスレフ型、防磁設計、ブックシェルフ型 12cm コーン形 × 1/2.5cm ツィーター × 1
入力インピーダンス：	4
最大許容入力：	60W ( JEITA )、120W ( PEAK )
最大外形寸法：	150 ( 幅 ) × 269 ( 高さ ) × 190 ( 奥行き ) mm ( 突起物を含む )
質量：	3.1kg ( 1台当り )

### □ 総合

電源：	AC100V 50/60Hz
消費電力：	55W ( 電気用品安全法による ) スタンバイ時：約0.2W ( 低待機電力モード時 )
外形寸法：	380 ( 幅 ) × 97 ( 高さ ) × 265 ( 奥行き ) mm ( 突起物を含む )
質量：	4.1kg

### □ リモコン ( RC-1035 )

リモコン方式：	赤外線パルス式
電源：	単3形乾電池2本使用
最大外形寸法：	52 ( 幅 ) × 233 ( 高さ ) × 21 ( 奥行き ) mm
質量：	160g ( 乾電池を含む )

JEITA：( 社 ) 電子情報技術産業協会が制定した規格です。

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

本機は国内仕様です。必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。







株式会社**デノン** コンシューマー マーケティング

本 社 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2  
茅場町タワー 14F

お客様相談センター TEL : **045-670-5555**

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間 9:30~12:00、12:45~17:30

(弊社休日および祝日を除く、月~金曜日)

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先(サービスセンター)については、  
次の URL でもご確認できます。

<http://denon.jp/info/info02.html>

後日のために記入しておいてください。

購 入 店 名 : \_\_\_\_\_ 電話 ( \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ )

ご購入年月日 : \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日